



1 各期の保健指導における共通事項

各期の保健指導において共通する事項を明記した。各期を確認する際は、併せて参照されたい。

特 性	観 察 事 項	保 健 指 導
<p>I 身体発育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身体発育状況 <ul style="list-style-type: none"> ・身長・体重・胸囲・頭囲の計測値（個人差があるので、前回までの計測値や記録を参考に増加状況を確認） ・身体各部の大きさ・形態・機能などについての心配の有無（頭部・頸部・胸背部・腹部・そ径部・陰部・殿部・四肢・目・耳） ○発育面で問題がある場合は、機嫌・食欲・栄養摂取状況・排便の状態・日中の活動の様子などをあわせて確認する。 ○現症・既往歴・家族歴の有無 ○けいれんの既往がある場合（発症年齢・発熱の有無・回数・持続時間・発作の型・発作後の状況など） ○現在治療中の病気がある場合（病名・発病時期・経過・現在の様子・医療機関・主治医・治療内容など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○計測値を母子健康手帳にその都度記入し、養育者と共に発育の様子を確認することが大切 ・就学前までの発育・発達の健康記録である。 ・記入することにより、わが子の発育、発達に関心を向ける。 ○計測値、診察結果を踏まえ、この時期の子どもの発育の特性や現在の発育状態について伝える。 ○計測値（カウプ指数、肥満度）で極端に大（97パーセンタイルを超える）または小（3パーセンタイル未満）のものは、医師の指示により受診を勧めるか経過観察をする。 ○栄養摂取状況に問題のある場合は具体的に説明する。 ○繰り返す熱性けいれんや、無熱性けいれんは医療機関受診を勧める。 （健康診査の手引 P.5、71 参照）
<p>II 子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て環境について確認する。 昼・夜の養育者は誰か。 ○子育てのことで困っていることや相談したいことはないか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに疲れていないか。 ・子育てに心配がないか。 ・子育てでイライラすることが多いか。 ・子育ての相談相手や協力者がいるか。 ・養育者自身のことで困っていることがないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て上の不安や心身状況を確認しながら相談に乗る。 ○実際の子育て環境を把握しながら、養育者にあった相談・支援方法を提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な乳幼児の健康相談の紹介 ・相談窓口の紹介（市町村、子育て支援センターなど） ・子育て支援センター、子育てサークルなどへの参加の勧め ・社会資源利用の勧め（ファミリーサポート、シルバー人材など） ・必要に応じて保育園、幼稚園への入園や一時保育などの提案（養育者の疲労

特 性	観 察 事 項	保 健 指 導
	<p>○養育者を孤立させない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養育環境の確認（核家族、転勤族、母親が県外出身者など） ・養育者の相談できる人の有無や実際に協力してもらえる体制の確認（配偶者、両親、友人、その他） ・地域の協力体制、社会資源の利用の確認 	<p>や精神的な不安が強い場合など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、家庭訪問し家族支援（養育者への協力を他の家族へ依頼するなど）
<p>Ⅲ 予防接種</p>	<p>○予防接種の接種状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳や母子健康記録票で接種状況を確認する。 <div data-bbox="564 835 767 1084" style="text-align: center;"> </div>	<p>○母子健康手帳の積極的活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種状況は大人になっても必要なことがあるので、きちんと記載し保管する。
<p>Ⅳ 事故予防</p>		<p>○各期の特性を踏まえて指導する（次項のとおり）。</p>

※各期の保健指導内の●：問題別保健指導であり P. 93 の【問題別保健指導】索引からも確認できる。

○子どもの発達と事故

	誕生	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月	13か月	1歳半	2歳	3歳	3〜5歳
運動機能の発達		●体動 ●足をバタバタさせる		●口の中のものを入れる ●見たものに手を出す	●寝返りをうつ	●座る	●はう	●ものをつかむ	●家具につかまり立ちする		●独り歩きする	●スイッチ・ノブ・ダイヤルをいじる	●走る・のぼる	●階段をのぼりおりする	●高い所へのぼれる	
転落	●養育者が子どもを落とす	●転落 ●ベッド・ソファからの	●スリングや抱っこひもからの転落			●歩行器による転落	●階段からの転落	●バギーやイスからの転落	●浴槽への転落		●階段ののぼりおりの転落		●窓・バルコニーからの転落	●すべり台、ブランコ		
切傷・打撲				●床にある鋭いもの	●鋭い角のあるおもちゃ				●鋭い角の家具・建具・カミソリのいたずら		●歯ブラシ・はしなど	●鋭いテーブルの角・ドアのガラス・引出の角などをさむ・引出手など		●屋外の石など		
やけど	●熱い風呂 ●熱いミルク		●ポット・食卓・アイロン				●ヒーター							●マッチ・ライター・湯わかし器・花火		
誤飲・窒息	●まくら・柔らかいふとんによる窒息		●何でも口に入れる	●小物・たばこ・小さなおもちゃの誤飲				●よだれかけ・ひも・コード	●ナッツ・豆類			●薬・化粧品		●ビニール袋		
交通事故	●自動車同乗中の事故			●養育者と自転車の二人乗り				●道でのヨチヨチ歩きの時				●歩行中の事故	●三輪車	●自転車		
溺水事故			●入浴中の首浮輪がはずれての溺水	●入浴時の事故				●浴槽への転落事故						●プール・川・海の事故		

引用文献：母子保健事業のための事故防止指導マニュアル（平成17年3月）